

単機関研究用

研究課題名：ADHD 患児の尿失禁の長期予後調査

1. 研究の対象

2010 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の期間に当院を受診された ADHD の方・ADHD の傾向があると判断された小児患者さんのうち、尿もれ（尿失禁）を有する方

2. 研究目的・方法・期間

・研究目的、方法

出生時は誰しもが尿失禁の状態にありますが、成長とともに排尿機能が成熟し、尿失禁は通常自然に消失します。しかし、成長後も尿失禁が持続する場合には、詳細な病歴の聴取および排尿状態の評価が必要となります。近年、尿失禁と発達障害（特に注意欠陥多動性障害：ADHD）との関連が指摘されており、尿失禁の診療において発達障害の鑑別が重要視されています。しかしながら、尿失禁を有する ADHD の方の排尿症状の長期経過に関する研究は十分ではなく、また有効な治療法についても現状確立されておられません。

本研究では、尿失禁を有する ADHD の小児患者さんを対象とし、当院の診療記録を調査し解析することで、排尿状態の長期経過を明らかにすることを目的とします。排尿状態の改善に関係する因子の有無について検討し、ADHD の小児患者さんにおける尿失禁の管理・治療に何が有益かを探りたいと考えています。

・研究期間 研究実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者 ID（情報管理に使用）、年齢、性別、生年月、診断名、診断時年齢、既往歴、服薬歴、アレルギー歴、生活歴、日常生活の活動レベル（Karnofsky Performance Scale）、家族歴、胎生期経過・出生時週数、問診アンケート（IPSS、OABSS、SF-8、DVSS、ブリストルスケール、ADHD Rating Scale (ADHD-RS)）、排尿記録結果、排便記録結果、尿失禁の種類、夜尿症の有無、昼間尿失禁の有無、尿失禁の頻度、身長、体重、バイタルサイン（体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度）、神経診察所見、血液検査結果（赤血球数、白血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数、白血球分画、総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、LDH、ALP、 γ -GTP、BUN、Cr、Na、K、Cl、P、Ca、Glu、HbA1c、AMY、CRP、BNP、NT-proBNP、pH、pO₂、pCO₂、HCO₃⁻、PT、APTT、D ダイマー）、細菌培養検査結果、尿検査結果、画像検査結果（X 線、CT、MRI、エコー、

骨シンチグラフィ、腎シンチグラフィ、尿路造影、尿路内視鏡）、尿流動態検査
結果、治療歴（排尿症状および ADHD に対する治療内容、治療効果）

試料：なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人
の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出く
ださい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

《照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先》

住 所：〒849-8501

佐賀県佐賀市鍋島 5 丁目 1 番 1 号

佐賀大学医学部附属病院 泌尿器科

担 当 者：泌尿器科・准教授・東武 昇平

電話番号：0952-34-2344

《研究責任者》

佐賀大学医学部附属病院 泌尿器科 教授 野口 満

【この研究の試料・情報の取扱い】

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした情報等には個人を識別でき
ないよう処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を
講じたうえで取り扱っています。

このお知らせは研究実施許可日より 2027 年 3 月 31 日までの間、研究対象となる患者さん
への公表を目的に、佐賀大学医学部附属病院臨床研究センターホームページに掲載してい
るものです。

佐賀大学医学部附属病院臨床研究センター <http://chiken.med.saga-u.ac.jp>

なお、この研究内容は佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会で審査を受け、研
究機関の長の許可を受け実施されています。臨床研究センターHP では、佐賀大学医学部附
属病院臨床研究倫理審査委員会に関する他の情報等も公表していますのでご覧下さい。